



2025年3月27日

各 位

会社名 株式会社竹内製作所  
代表者名 代表取締役社長 竹内 敏也  
(コード：6432 東証プライム)  
問合せ先 経営管理部長 堀内 厚志  
(TEL 0268-81-1200)

## 固定資産の取得（工場用地の取得及び新工場の建設）に関するお知らせ

当社は、2025年3月27日開催の取締役会において、現有の青木工場の隣接地に工場用地を取得し、クローラーローダー（以下、ローダー）の新工場を建設することを決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 取得の理由

当社グループの将来的な事業拡大を見据え、生産能力の増強を図るため、新たに工場用地を取得し、新工場を建設いたします。新工場の稼働開始は2028年1月頃を予定しており、フル稼働に至ると、当社グループの生産能力は1.3倍となる見込みです。

当社グループの主力市場は北米及び欧州であり、北米での主力製品はローダー及びショベル、欧州での主力製品はショベルであります。当社グループはすでに、2022年9月に稼働開始した米国サウスカロライナ州の工場により、ローダーの生産能力は1.4倍に、2023年9月に稼働開始した長野県小県郡青木村の青木工場により、ショベルの生産能力は1.5倍に増強を果たしました。

しかしながら、ローダーにつきましては、主力の北米市場での需要が引き続き旺盛で、さらに、欧州市場においても、新たな需要の拡大が見込まれており、生産能力のさらなる増強の必要性が高まっております。

住宅不足やライフラインの老朽化は、欧米のみならず全世界が直面する社会課題であり、脱炭素に向けた再生可能エネルギーへの移行に必要なインフラ建設の拡大と合わせて、現在及び将来の社会インフラの維持・構築に当社製品は必要不可欠であり、その需要はショベルもローダーも中長期的に安定拡大が見込めることから、この度の新工場は、5年先、10年先を見据えた成長戦略の礎となるものであります。

#### 2. 取得資産の内容

- 取得価額 180億円（工場用地・建物・生産設備の総額・概算額）
- 工場用地

(1) 資産の名称	土地
(2) 所在地	長野県小県郡青木村大字当郷
(3) 面積	約 28,000 m <sup>2</sup> （工場用地：約 22,600 m <sup>2</sup> 、駐車場用地：約 5,400 m <sup>2</sup> ）

(4) 取得相手先	複数の一般個人であるため、公表を控えさせていただきます。なお、当社と相手先との間には記載すべき資本関係・人的関係・取引関係はなく、相手先は当社の関連当事者ではありません。
(5) 現況	農地

#### ■ 新工場

(1) 資産の名称	青木・第二工場（仮称）
(2) 所在地	長野県小県郡青木村大字当郷
(3) 建築面積	約 19,250 m <sup>2</sup>
(4) 延床面積	約 24,100 m <sup>2</sup> （2階建て）
(5) 取得相手先	新築工事のため、該当事項はありません。

### 3. 取得の日程

- |            |                                      |
|------------|--------------------------------------|
| (1) 取締役会決議 | 2025年3月27日                           |
| (2) 開発許可申請 | 2025年5月（農地法に基づく農地転用許可申請を含む）          |
| (3) 開発許可   | 2025年8月                              |
| (4) 用地取得   | 2025年9月～2026年1月                      |
| (5) 土地造成工事 | 2026年2月～2026年7月（6ヶ月間）                |
| (6) 工場建設工事 | 2026年8月～2027年7月（12ヶ月間）               |
| (7) 生産設備工事 | 2027年12月 完了（一部の設備は工場建設工事の完了後に設置するため） |
| (8) 工場稼働開始 | 2028年1月頃                             |

### 4. 今後の見通し

当該固定資産の取得による2025年2月期、及び2026年2月期の連結業績への影響は軽微であります。なお、新工場の稼働開始は2028年1月頃の予定であり、業績への貢献は2029年2月期以降になると見込んでおります。

### 5. ご参考

- (1) クローラーローダーとは
- ① 掘削が主な作業であるショベルに対して、クローラーローダーは運搬・整地が主な作業
  - ② アーム先端のアタッチメントを交換することで、様々な作業が可能
  - ③ 建設現場のみならず、農作業、森林整備、造園などマルチに使用可能



(2) 現有の青木工場と取得予定の固定資産の位置関係



以上